日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

長泉麗峰山の会 (sine１９９４)

第３０期・１巻　　２０２４年　　４月号　　NO. 271

仲間と仲間を結ぶ機関誌

すーほう

Susono Reihou Alpine Club

雪の記憶

山行ＮＯ．２０２５
２０２４．０３．１５
会創立３０周年記念登山
上越・タカマタギ

2024年度・04月度例会資料　　2024/04/06

１．報告・当面の予定

02/24（土）会　富士山・御殿庭　　後藤、加藤、山田敬

/29（木）個　丹沢・大山　　加藤・植松

03/02（土）会　富士山・二ッ塚　　後藤、伊藤、北村、大島

/02（土）会　満観峰　　加藤、山田由、植松

07（木）個　糸魚川シーサイドバレー（山岳スキー訓練）　　加藤

/09（土）会（富士）薩埵峠　　加藤、斎藤、植松、井戸川、大島、一般（遠藤・沼津労山）

/10（日）会　蓼科山・将軍平＝後藤、山田敬、北村

/14（木）～17（日）個　タカマタギ周回、谷川岳　　後藤、加藤、山田敬

/21（木）個　奈良井宿ハイキング　　加藤、斎藤、大島、遠藤（沼津労山）

/22（金）個　木曽駒高原スキー場（山岳スキー訓練）　加藤、ほか１名

２．新しい仲間です　大島民橋さん　アルパイン志向で入会しました。三島、高良さんの紹介です。

３．事故報告　1/7　浜松勤労者山岳会（65・女）鈴鹿・竜ヶ岳　避難小屋近くで石に躓き転倒
左足首脱臼骨折

2/11　山登歩山の会（71歳・女）車山駐車場　駐車場のアイスバーンで滑って転倒、トイレに忘れ物回収で焦っていた？？　腰椎圧迫骨折

2/24　浜松勤労者山岳会（51・女）城ケ崎・滑落し左足首開放骨折

４．会報とピックアップ

「あさぎり」　あさぎり山の会　　３月号　　NO.365　　P39　　電子版

報告＝矢倉岳、足和田山、飯縄山、都留アルプス、島田＝千葉山・矢倉山、黒斑山、レイホー30周年記念・巣雲山、縞枯山～茶臼山、木曽駒、焼岳南峰（日帰り）、戸隠・鏡池、延命寺山＝広葉樹・植栽活動、霞沢岳西尾根＝富士宮発０時日帰り、黒姫山＝駐車場空き地ギリギリ、ほか登山計画、掲示板など。

「甲斐峰」　山梨山の会　　３月号　　NO,322　　P14　　電子版

運営委員会・山行部・事務局報告、座学シリーズ「登山と健康」、雀の学校＝高取山・仏果山、報告＝守屋山、赤城山、興因寺山南尾根、たいら山。山行状況、山行予定、会報えつらん「れいほう２月号」、など

「ハイキングだより」　新潟・みちぐさハイキングクラブ　２月号　　NO.352　　P12　　電子版

新春顔合わせ＝大力山（一度上りたい山）、アルプス日記・マッターホルン、モンブラン眺望、弥彦山・多宝山、ほか

山行ブログ・・・ https://mitigusahc.fc2.net/

「くろゆり」　三島勤労者山岳会　３月号　　NO.529　　P10　　電子版

表紙＝れいほう30周年記念山行・巣雲山、報告＝2/18・/25夏沢鉱泉アイスギャラリー、菜畑山、半蔵山（宇都宮市）、安戸山（塩原市）、南月山（那須町）、三ッ峠・金ヶ窪沢アイスクラ、今倉山。議事録、山行計画、実績、組織図、ほか

写真報告　　3/3　　第 58 期・県連総会　　静岡・生涯学習 S　　10:00～14:30　　約 50 名出席

理事＝加藤、代議員＝後藤、オブザーバー＝伊藤・大島、出席

メモ＝全国連盟から、ハイキング部長の田上氏が出席

役員選挙で問題があった。その後、3/17 臨時理事会で郵送再選挙が決まった。

会長挨拶

田上氏

加藤挨拶

討議

静岡県連総会 58 期代議員・理事　各位

静岡県勤労者山岳連盟

理事長　　海野　美春
（070-2636-1666）

再投票のお願い

桜の開花の情報ももうすぐ聞かれる頃かと思います。皆様におかれましてはご清祥のことと存じます。

この度、３月３日の行われた県連総会の役員選出にて理事会の準備不足で混乱を招いた事をお詫び申し上げます。

３月１７日に議長、選挙管理委員を含めて臨時の理事会を開催しました。投票用紙について、当日修正いただきましたが、清水労山の脱退届が出された時点からの「清水労山 CHC」までの流れについて、該当会、該当者の話を聞きながら話し合いました。申請中の「清水労山 CHC」から「安倍っ子山の会」に会長の所属を直して頂きましたが、当該会からの推薦はなかった事,まだ承認されてない会（申請中）からの立候補はできないなどの意見が出され、他にも推薦理事の名前が抜けていた等不備があったこともあり再投票ではっきりした方がよい、という結果となりました。投票については白紙に戻し、役職には誰でも立候補ができる、理事は今まで通り推薦で出す、ということが確認され、再投票を行うことになりました。

再選挙ですが、**①すでに各会から推薦されている理事候補に変更のある場合②代議員、各会の会員で会長、理事に立候補する人**は選挙管理委員に申し出て下さい。

本来ならお集まりいただき投票をお願いするところですが、投票時間に対して会場までの往復にかかる時間、各会の総会日程など考え、郵送での投票を行います。代議員、選挙管理委員等の皆様にはご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

記

【立候補受付　理事推薦状の締め切り】・・・３月２７日
　　選挙管理委員（増田美津子　橋本博之）届け出先　増田（smilehitorioya@gmail.com ）
【投票用紙発送】　・・・３月２９日
【投票締め切り】　・・・４月　５日必着（郵便物が届くまで以前より日数がかかる場合がありますので注意してください。）
【投票用紙開封、開票、結果報告】・・・４月　７日　（立会人　奈木昌彦）

第５８期　臨時理事会議　議事録・・・上記の顛末

2024 年 3 月 17 日　　長田生涯学習センターにて

伊豆ＨＣ（野口濶資 ）	欠	清水労山（ 千葉洋己　 ）	○	山登歩（花澤秀治）	○
（竹端節次）	欠	清水労山 CHC（竹本幸造）	○	（周防紀一郎）	○
三島労山（平野　悟）	欠	静岡労山（原田信義 ）	欠	ＮＭＣ（海野美春）	○
長泉麗峰（加藤秀子）	○	（森下栄治 ）	○	（森 英代）	○
沼津労山（ 大村忠義）	○	安倍っ子　（村山俊一）	○	浜松労山（後藤秀人）	○

あさぎり（富永政則）		○	焼津山の会（山崎勝治）		○	フレンズ（小平悟一 ）		○
三島労山（高良周作）		欠	山登歩（梅沢武夫）		欠			
選挙管理委員	増田美津子	○	議長	塚山冨美子	○	関連山岳会会長	後藤隆徳	欠
	橋本博之	欠		加藤高志	○		西村育恵	○

議長選出…あさぎり山の会　富永政則氏

海野（NMC）	１月２１日の理事会～今日臨時理事会までの経緯説明 総会の選挙に不正ありのメール。（会長で信任された竹本氏は安倍っ子を退会し、理事の推薦も受けていない。）規約を見たが、判断しにくい。理事会で判断したい。
富永 （あさぎり）	まず、清水労山から話をお願いします。
千葉 （清水労山）	清水労山の脱退届、提出後の説明 役員をやる人がいない、役員をやる人が山に行けなくなる、山行に車を出す人がいない→労山を脱退した方がいい→脱退届→理事を出さなくてもいいということなので、脱退しなくてもいいかなという話になった。→清水 CHC のことを聞いていないし、馬鹿にしている。清水労山は脱退しないことになった。
村山 （安倍っ子）	資料からの説明　　清水労山と移籍の関係がはっきりしない。 清水労山に移籍するとの本人からのメールにより、全国連盟に安倍っ子を退会し、清水労山に移籍するメールを送った。退会していることにはならないのか。竹本氏に理事推薦をしていない。総会での投票は不正で無効。会長退任を要求する。
竹本（清水労山 CHC）	理事長の意見を無視して、理事にメールを送ったのはどうか。県連理事をないがしろにし混乱を招く。総会に途中退席していた。
塚山（伊豆 HC 労山会員 GRP）	労山として、仲間としてまとめる話にしてほしい。
竹本 （清水 CHC）	清水労山会長の西村氏に、１月２１日の理事会での内容を郵送。２月６日清水労山の例会に出席し説明した。入会希望も伝えた。いろいろ話したが、埒が明かないので、会を発足させ全国連盟に連絡した。→総会当日には、正式に承認されていないので、清水労山 CHC が所属会となっているのはおかしいというので、安倍っ子に修正されての投票となった。 退会には、全国連盟に退会届、労山カードの返還が必要。
海野（NMC）	**退会届を受けてから清水労山CHCまでの経過** **ブロック会議会場で退会届受け取る→清水労山に踏みとどまれないかの提案→理事会で伝える→理事会からの通知を伝えに行く、清水労山への入会も考えているとも話あり。→総会前に清水労山CHCの話を聞いた。**
村山 （安倍っ子）	**退会と移籍の違いは？**
竹本 （清水CHC）	**退会は会員を辞めること、移籍はA会からB 会に移ること。**
加藤（長泉）	**メールで初めて知った。**

	竹本氏が清水CHCで推薦というのがおかしいと分かっていたと思うが、それを記載したのはおかしい。それを指摘されて「安倍っ子」に、というのもおかしい。竹本氏の責任はある。再選挙するのが前向き。
後藤（浜松）	総会時は入院中。１月２１日の理事会の内容しかわからなかった。他の理事もそうだと思う。一方的なメールは迷惑。 清水労山に対して、残りたい人がいるのに、脱退はどうか？もう少し考える余裕があっても良かったのではないか。 清水労山に対してやり方が強引すぎた。安倍っ子とも清水労山との話し合いも不十分だった。 新しい会を作ってそこに籍を入れるのは問題ない。
塚山（伊豆）	清水労山は結局どうなったのか？
千葉（清水）	６人位退会したが、労山に残る。
塚山（伊豆）	総会で決まったことなのか？みんなの気持ちを考えたほうがよかったのでは。規約もあるが仲間として弾力をもってやるべき。個人攻撃は良くない
周防 （山登歩）	再投票をした方がいい。 選挙のことで教えてほしい。
加藤（	会員ならだれでも立候補できる。立候補したい人は総会に来る。 会員が移るなら、新しいところが決まるまで尊重することが大事では。
後藤（浜松）	やってほしい人が出る、形としては立候補。
周防 （山登歩）	会長立候補は出してほしい、推薦してほしいのは理事ということ。
山崎（焼津）	メールではなく文書で理事会に申請すべき。団結は何物にも勝る宝で、県連として前向きになるようにしてほしい。
村山 （安倍っ子）	メールは良くないというが、加藤さんのはいいのか？
大村（沼津）	メールは来ていない。理事会で決めるべき。
周防 （山登歩）	清水労山の件は理事会とは関係ない。とやかく言うことではない。
竹本 （清水CHC）	清水労山の中に、４人労山に残りたい人がいるなら、その人を守ってほしい。中には県連創立メンバーもいる。
富永 （あさぎり）	清水の意見は？
西村（清水）	清水労山のことで迷惑をかけて申し訳ない。これからもっと労山が発展していってほしい。
加藤（長泉）	山楽歩の脱退は、労山を説明しても残りたいのは加藤氏一人。一人でやっていく気はなかった。会財政のこともあり脱退になった。 再選挙で決めてほしい。
塚山（伊豆）	労山を脱退するとき、基金がなくなってしまうと話しあいをした結果半数くらい残った。清水労山の脱退理由によって、援助できることがあればすればいいのでは。
富永	配信には注意を。

（あさぎり）	投票の不備。 会の中の問題はその会で解決を。 竹本氏の退会については、手続き上のこともあるが、責任はある。清水労山の脱退からの話だったと思うが、いつの間にか清水労山 CHC 発足になった。
村山 （安倍っ子）	こんな問題を引き起こしたことに対して竹本氏に謝罪してほしい。
千葉（清水）	再選挙で新しい人の立候補を求める。 清水労山 CHC と名前はどうか。清水労山への当てつけ？名前を変えてもらえるのか？
竹本 （清水 CHC）	清水労山が脱退するということを基に考えた。清水労山が脱退ということがなければ改名する。
富永 （あさぎり）	投票用紙に、会長や理事長の立候補がいれば氏名と所属会を記入する。
周防（山登歩）	立候補したい人がいないか、各会で会員に周知する。
富永 （あさぎり）	投票方法をどうするか？ 説明文を付けて郵送でやる？
加藤（長泉）	総会の投票用紙の訂正、清水労山 CHC は承認されていないので、安倍っ子に、村山氏の記載漏れは単純に事務局のミス。 再投票のいきさつ、文では分かりにくい。
後藤（浜松）	浜松は代議員を 3 名出している。浜松から来るのは大変。集まって行うのは苦痛を与える。
森（NMC）	郵便でどうですか。
富永 （あさぎり）	投票用紙にミスが多いので、全理事総選挙とする。 立候補を募り、それにもとに、投票用紙を作り、説明文とともに郵送し、返送してもらう。
塚山（伊豆）	誰が投票したかわかってしまう？
海野（NMC）	投票用紙は返信用封筒とは別の封筒に入れ、それを返信用封筒に入れる二重封筒方法で。封を切ったら投票箱に入れてもらうようにすることを考えている。
加藤（静岡）	代議員は総会の時と別でもいいか？
富永 （あさぎり）	総括、方針は承認を受けているので総会時の代議員で良いのでは。 立候補を募り、理事の推薦を改めてとり、再選挙とする。
塚山（伊豆）	伊豆ハイクの脱退の話が出たとき、いろいろ大変だった。
加藤（長泉）	いつまで？
富永 （あさぎり）	４月上旬位
加藤（長泉）	今月中にできれば・・・。

今後の流れ・・議事録と再選挙のお願い文書の作成から、議長等と相談していく

<u>○立候補、理事推薦、投票についての確認</u>

労山会員なら、誰でも立候補できる。

会長や理事長などの立候補を受け付けるとともに、各会理事の推薦を行い届け出る。

立候補者がいなかった場合は、理事の互選で決める。

切り抜き帳 静岡新聞から転載

北海道で雪崩 2人死亡

利尻山と東狩場山

3日、北海道利尻島の利尻山（1721㍍）と島牧村の東狩場山（1319㍍）で雪崩が相次ぎ、2人が死亡した。

道警によると午後0時40分ごろ、利尻山で「雪崩に巻き込まれた」と110番があった。4人が救助され、うち40代とみられる女性1人が死亡したほか、20代とみられる男性1人が足を骨折し、ヘリコプターで搬送された。残る2人にけがはなかった。

東狩場山では午後3時40分ごろ、スノーモービルをしていた15人ほどのグループから「1人が雪崩に巻き込まれた」と119番があった。20代ぐらいの男性1人が搬送され、死亡が確認された。

利尻山で雪崩があったのは山頂東側の標高約400㍍の斜面。バックカントリーでスノーボードなどをしていたとみられる。地元消防によると8人グループだったとの情報があるが、道警が詳しく調べている。

稚内地方気象台によると、島内では1日夕から雪崩注意報が発表されていたが、3日午前5時に解除された。同日正午までの24時間降雪量は5㌢だった。

東狩場山では、男性が斜面を下っている際に雪崩が発生。仲間が救助した。

鳥取・大山の雪崩 不明2人 捜索難航

鳥取県大山町の大山（1729㍍）で2日に起きた雪崩に巻き込まれ行方不明の男性2人について、県警は3日、いずれも福岡市博多区の会社員梶栗憲一郎さん(55)、会社役員武田豊史さん(52)と発表した。県警は3日朝から捜索活動を再開したが、悪天候のため午後1時ごろまでに中断した。4日朝から再開する予定だ。

琴浦大山署によると、梶栗さんらは他の男性1人とともに、ロープワークなどの訓練をするため2日午前8時半ごろ入山。訓練場所の尾根に到着したが雪の状態が悪く下山を始めたところ、午後0時ごろに標高1030㍍から1350㍍の山中で雪崩に巻き込まれたという。

1人は自力で脱出し、命に別条はない。3人は登山届を提出しており、日帰りの予定だった。

3日午前7時ごろから同署員7人が入山したものの発生現場まで近づけず、再び雪崩が発生する恐れがあったことなどから麓へ引き揚げた。

現場周辺では3日、雪崩と強風の注意報が出た。署によると、時折地吹雪が起きていたという。

3/4

富士宮とネパール 友好都市に

駐日大使、須藤市長に提案書

提案書を須藤市長に手渡したスベディ駐日ネパール大使（右）＝富士宮市の市民文化会館

ネパールのドゥルガ・バハドゥール・スベディ駐日大使はこのほど、富士宮市を訪れ、同国のマンダン・ドゥプール市と富士宮市の友好都市関係締結を提案した。両市ともに世界遺産の山の眺望が良く、世界有数の観光地という共通点を提案の理由に挙げた。

マンダン・ドゥプール市は首都カトマンズから北東に約50㌔離れた場所にある。観光地ナガルコットは世界最高峰エベレストなどヒマラヤ山脈を一望でき、人気を集める。

スベディ大使は市民文化会館で開かれた国際交流フェスティバルで登壇した。乳製品の産地であることや、ギョーザのような軽食「モモ」が富士宮やきそばと同様に国内で有名であることなど共通点を紹介し、「文化や教育、観光の分野でつながりを強めたい」と語った。

スベディ大使から提案書を受け取った須藤秀忠市長は「友好関係が築けるよう前向きに検討する」と応じ、握手を交わした。関係者によると手続きが順調に進めば、秋ごろまでに友好都市提携を締結し、年内に訪問団の往来を始めるという。

2/13

等高線　NO.175

「回想、2000 回登山・12」

2024/03/25

後藤隆徳

つづき

　三島労山が初めての北アルプス冬山、鹿島槍は、大きな成果を残し成功裏に終わった。何といっても 9 名で合宿が出来たのは素晴らしかった。

　翌 81 年末は、五龍岳に上ったが、白岳までだった。翌 82 年末も五龍岳に挑んだ。先発 2 名は、12/27～30、本隊 8 名は、12/30～1/2 だった。先発、後藤の荷物は、36kg、山下は、34kg だった。途中、山下の荷物を分けて、40kg 近くなった。

　12/29、本白根が噴火し、噴煙が上がっていた。その日、頑張って登頂した。長居は無用と翌 30 日下山。しかし、入山した本隊と民宿で会ったが、本隊は、1 日早く下山した我々を歓迎する雰囲気はなかった。合宿は、気まずく終わった。

五龍岳山頂（首にゼンザ・ブロニカＳ2 が下がる）

1983/06/19　三島カトリック教会（前列右 3 人目が故吉尾弘）

83 年は、三島労山の 10 周年記念レセプションが、6/19 三島カトリック教会で開催された。2000 年に谷川岳で遭難死した、吉尾弘が来賓で来た。余談だが、この時、我が家の 5 歳の娘、菜央子と後に旦那になる鈴木が一緒の写真に収まっていた。

年末は、12/30～1/2、白馬岳に入った。CL は、私で総勢 12 名。栂池から入山し、白馬大池に BC を建設した。

1/1 アタック。昨夜は寒くない夜だった。イヤな予感。三国境でホワイトアウト。女子最高齢 47 歳の川口はここで待機。2014 年、病で亡くなった杉澤が面倒を見た。

他は登頂し下山。杉澤と私が川口に付き添って 3 名で下山。ところが、大池の BC に着いたら誰も居ない。素人にありがちなミスだが、要するに、朝暗い中、ヘッドランプで出発している。地形が頭に入っている人はイイが、入っていない人は、明るくなっても地形が分からない。

大池から白馬の道は、大池から西に向かい、尾根に出て、今度は南下する。ほぼ、直角に曲がらなければならない。ところが、山はガスガス。現在の様にスマホは無いので、現在位置が特定し難い。

結局、先発隊は北上してきたが、右（東に曲がらず）直進してしまった。BC に着いて杉澤と探しに行こうと準備をしていたら、遥か彼方から、帰って来た。そんなこんなで、この山も思い出深い山だった。

そして、疲れて登頂できなかった川口諒子だが、実は、息子・智也（もとや）は当時、東京電機大学生だった。彼は 80 年末、この栂池スキーで足を骨折した。

そして、翌年 6 月、山に復帰した。しかし、復帰第一回・谷川岳烏帽子岩山行で懸垂下降中、墜落死した。まだ、21 歳だった。（つづく）　**（敬称略）**

白馬栂池（さながらヒマラヤ遠征・荷物が超大きい）

写真報告　　実用新案？？「ガチャ袋」　山田由美子さん考案してくれました。
何かと、「ガチャガチャ」と煩わしい冬山装備。それを一袋に纏める工夫を考えてくれました。
ありがと～う！！

元祖・由美子さんのガチャ袋

後藤袋・レイホーの刺繍入り

北村袋、袋は由美子さん製、刺繍は北村さん

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・山田　写真・後藤
山行番.	NO.2032
日　時	2024 年 2 月 24 日（土）晴のち曇
山　域	富士山・御殿庭（約 2170m）
コース	長泉 6:00－幕岩下沢（仮称）周遊道橋発 7:16－幕岩―三辻 9:36―バリエーション 10:08 －御殿庭上 11:30（昼食）～下山開始 12:14 －下山 14:04―御胎内温泉―長泉
標高差	幕岩下沢・周遊道橋約 1339m～御殿庭上 2171m＝約 860m
難易度	非常に困難　困難　やや困難　**レ普通**　やや易しい　易しい

雪の富士山は、登りやすく、絶景だった

ど～が～	https://susono-reihou.babyblue.jp/00-43mp4.mp4
参加者	後藤、加藤、山田＝3 名

2 月第 3 週は悪天候が続き、連休中日の土曜日 24 日だけ天気が回復。日曜日はまた崩れる予報。土曜日に日帰りで行ける雪山という条件で、富士山に登る。

朝、空は予報通り快晴。山頂から山麓まで真っ白な富士山がそびえ立っている。御殿場から自衛隊基地を抜け、登山口に向かうまでの見慣れた道中は、見事な雪景色。

しかし道路はガリガリに凍っている。雪がなさそうなところも、歩いてみるとツルツルでブラックバーンだ。流石に行き交う車の数は少ない。

駐車場

幕岩下沢

今回は沢から登ろうということになり、近くに車をとめて、山行開始。

沢は樹林がなく、大きく視界が開けている。沢の上流に富士山頂。空は富士山ブルー。そして左右に白い樹氷をまとった樹林帯。絵になる構図だ。

気温は０度近かったと思うが、まったくの無風。少し歩くと暑くなるくらい。途中、アウターを脱いで、体温調節をしながら、登りを楽しむ。

雪山用の靴は履いているが、アイゼンをつけるほどではなく、歩きやすい。（結局、今回は一度もアイゼンはつけなかった。）

向うに富士山

　樹氷や雪紋を楽しみながら、三辻、小天狗下を越えて、休憩をとり、お汁粉やおにぎりなどを食べる。標高が上がれば上がるほど、枝につく樹氷は大きく、アイスキャンディーぐらいのサイズになっていた。試しに舐めてみたりした。

　大きくなりすぎた樹氷は、晴れた日差しで溶け出し、カラカラとあちこちで氷が地面に落ちる。この条件でしか聴けない自然の音色だ。眼下には雲海と駿河湾が見え、幻想的な体験だった。休憩後に一般道からバリエーションルートに入る。
　標高は 2000 メートル近くなので、斜面はカラマツもポツポツと点在している程度。目指す方向に向かって、カラマツの間を縫って登る。しばらく行くと森林限界になり、雪も薄くなる。雪の吹き溜まりを避けながら、尾根の中腹をトラバースして進む。
　最後は宝永山下の大斜面を**「レイホー！レイホー！」**で横切り御殿庭上に到着。朝は晴天だったが、山頂に着く手前からガスが出てきた。会長 G の誕生日が直近の 2 月 22 日だったので、お祝いの横断幕を持って記念撮影。

　昼食をとった後は、一般道を下った。幕岩下から沢の脇を通って車を停めている地点まで長く感じたが、結局、行きは４時間半。帰りは 2 時間程度で降りてきた。
下山後、冷えた体を御胎内温泉で温め、直会では個人山行に行っていた K も加わり、今後の山行計画について語り合った。

三辻先の峠

特選・御殿庭アイス

山上祝

写真報告　3/9　薩埵峠～浜石岳　加藤、斎藤、植松、井戸川、大島、一般（遠藤・沼津労山）

（写真・加藤）

薩埵峠

うどん大会

富士山がイイね

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・山田、北村　　写真・後藤、北村
山行番.	NO.2034
日　時	2024 年 3 月 10 日（日）晴・風なし
山　域	北八ヶ岳・蓼科山（2531m）将軍平
コース	下土狩 4:55-竜源橋駐車場 7:50-登山開始 8:00 -将軍平分岐 9:56-ワカン装着ラッセル開始 10:24 -標高 2111m で上りを止め下山開始 11:40-将軍平分岐(昼食) 12:11～12:32-登山終了(竜源橋駐車場到着) 13:43-小斎の湯(入浴・休憩)-長泉到着 19:01
標高差	登山口・約 1650m～最高到達点 2111m＝約 461m
難易度	非常に困難　困難　レやや困難　普通　やや易しい　易し
蓼科の南回りは雪深く、撤退者続出だった	
ど～が～	https://susono-reihou.babyblue.jp/00-45mp4.mp4
参加者	後藤、北村、山田＝3 名

3 月第 2 週は 8 日金曜日と 9 日土曜日の 1 泊 2 日で八ヶ岳の赤岳に登る予定だった。しかし、天気は悪く、金土はあきらめ、日曜日もやや悪天候だとしても登れそうな蓼科になった。

ただ登山者が多いスズラン峠からではなく、竜源橋から滝ノ湯川沿いを進み、将軍平の分岐から山頂をめざす。こちらの方が登山者も少なく雪も多いから雪山の訓練には良いからだ。

（北村）

（北村）

我々が予定していた竜源橋駐車場には、幸い 1 台分スペースがあり駐車できた。しかし、ビーナスラインの側道スペースは、あちこちで車が停車されていた。それらはスズラン峠駐車場で停められなかった車が流れてきているようだった。

予想より天気はよく、風も無風。歩きだすと暑いくらいだ。ほぼ平地感覚の樹林帯の中を約 2 時間歩く。将軍平の分岐に来たら、数名のパーティの人たちが休憩している。声を

かけたら、雪が深すぎて撤退してきたという。その人達の話によると、トレースを辿って登ろうとしたが、そのトレース跡が正規ルートとずれていて、途中に気づいてから軌道修正するにも、雪が深すぎて、前に進めないので、あきらめたという。

これは覚悟していかなければと気を引き締める。アイゼンからワカンに履き替え、KはGPSでルートを確認しながら進むことにした。実は私はまだワカンを履いて歩いたことがなかった。

昨シーズン、ワカンは持って歩いていただけだ。前日にワカンの締め方を復習したが、いざ現場で装着となると、雪の斜面の角度や、寒さで指先の感覚がなかったりして、装着したつもりでも、しばらく歩くと緩んだりして、安定しない。ワカンを締め直すためにGとKには、先に行ってもらう。

分岐

早くも撤退パーティー

分岐を越えてから、防衛大学の7名前後のパーティと、そこについて歩いていた女性2名の隊とすれ違ったが、彼らも雪の深さと帰宅時間の制限があり、とても登頂は難しいと判断したので、撤退するという。

YAMAPで現在地と予定コースを確認する。彼らの進んだトレースよりもっと左側に進行方向を変えて進まないといけないことはわかった。GとKも同じ認識で、どこかでトレースを外れて左側に進んでいるはずなので、自分のワカンを調整し直した後、トレースを進みながら、左に入っているGとKの踏み跡を探した。

結局、私はGとKが進んだコースが見つけられず、電話も繋がらないので、合流はあきらめて、GとKが戻ってくるのを分岐で待つことにした（事前に現状を見て登頂はあきらめて、12時目処で戻ろうと分岐を出たところで話していた）。 20分ぐらい分岐で待っていたらGとKが戻ってきて合流できた。

ラッセルでルート修正をして2111mまで登った記録はこのあとのKの文として残すが、途中ではぐれてしまった私の大きな反省としては、そもそも事前のワカン装着の確認と準備が不十分だったこと、あとワカン調整にかかる時間の見積もりが甘く、少し遅れても、いつもの通りすぐに追いつけると思った.

蓼科山（北村）

今回の雪山の状況ではそれは難しかったことが挙げられる。結局、個人的には不完全燃焼の撤退となったが、トレースを信じる恐ろしさなど雪山の勉強になることが多かった。**（余談だが、次週の谷川岳で何気なくＹのワカンを見て実際履いてみたら、実は、装着が前後逆だった。上手くいかない原因はこれだった）（バラしてゴメン！！）**

【以下、文・北村】

■分岐から蓼科山荘への登山道をラッセル

１．将軍平分岐の先ですれ違った登山者からの情報で、現在位置(トレース)は登山道から外れており、且つトレースはこの先で消える事が分かった。

２．すれ違ったパーティは３組、皆登頂を諦め引き返していた。後藤 CL は、時間を決め行けるところまで正しい登山道をラッセルで進もうと判断した。

３．３人でワカンを装着する。山田さんは、装着が完了していなかったが、ラッセルはゆっくりしか進めないから、すぐに追いつける。後藤 CL からラッセルの先発と先進を指名され先に歩き出した。

４．まずは、正しい登山道を探す。
現在位置が登山道の東に反れている事は GPS でも確認していたので西の方角に進む。新雪だが地形が分かる程度の積雪なので、道らしい地形を探りながら注意深く進んだ。100ｍほど歩いた場所で後藤 CL がピンクテープを見つけて教えてくれた。良く見ると

ガチ・ラッセル

踏み後の面影が先へと続いているのが確認できた。

5．その後は、適度な間隔でピンクテープもあり、迷う事もなく登山道を進めた。途中、動物らしき足跡もあったが惑わされる事はなかった。徐々に疲れを感じてきたが、山田さんが来るまではとペースダウンせず踏ん張った。

6．沢の地形になる。沢の中は雪も深く危険なので、なるべく縁を歩くよう注意を受けた。縁に上がる傾斜面は雪が深く、つま先側を斜面に蹴り込むようにして這い上がった。岩と岩の間なのか何度か雪深い場所も踏んだが、進路を修正しながら進むことができた。

7．途中で「山田さん遅いね」と心配になる。後藤 CL が「レイ・ホー!」と大声で合図を送ったが応答はなかった。直後、CL の電話に山田さんから電話が入る。電波が弱く声が途切れ、会話は出来なかったが、声からケガ等のトラブルでは無さそうとゆっくり先へ進んだ。自分にもラインを送ってくれていたが、受信が遅れて気づけなかった。

8．15 分ほど歩いた場所で、この日の上りは終了となった。
予定時刻より少し早かったが、地形と積雪状態から危険も潜んでいるとの後藤 CL の判断だった。雪もかなり深そうに見えた。下山は自分達がつけたトレースがあるので軽快だったが、足の疲れなのか、何時もよりバランスを崩しやすかった。

9．将軍平分岐で山田さんが待っていた。
後藤 CL、北村の進んだ方向に迷ったため、無理に動かず確実に合流できる場所に引き返したとの事。先にスタートするとき、大丈夫かと声かけ確認すべきだったと反省している。初めてのラッセル、進路の判断、自己の反省点、良い経験になった。

（タイトルは、「そして誰も居なくなった」にしたかった）？？！！(笑)

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・写真　後藤
山行番.	NO.2035
日　時	2024 年 3 月 15 日（金）晴・風なし
山　域	上越・タカマタギ（1529m）の棒立山（1420m）下で撤退
コース	毛渡沢橋 5:30-尾根取り付き 6:00-鉄塔 6:14-ピーク 1040m-美しいブナと雪庇の尾根-棒立山下・最高到達点（1360m）10:42-鉄塔-毛渡沢橋 14:30
標高差	毛渡沢橋約 544m～最高到達点 1360m＝約 816m
難易度	非常に困難　困難　**レやや困難**　普通　やや易しい　易しい
美しいブナと、延々と続くラッセル地獄	
ど～が～	https://susono-reihou.babyblue.jp/00-47mp4.mp4
参加者	後藤（77/1）、加藤、山田＝3 名

14 日、久しぶりの上越だった。「・・・長いトンネルを抜けると、そこは雪国だった・・・」今年は何処も**「雪が少ない」**だったが、３月に入り、毎週のように南岸低気圧が通過し、その後、冬型が続き、結果、積雪は増えた。

湯沢 IC から、明日、出発地の毛渡沢（けとさわ）橋に着いた。平日だが、車は 2 台。我々は 1 時間程下見した。群馬大ヒュッテに続くルートにトレースはなかった。雪は重くグズグズで、明日が思いやられた。

鉄塔

下見を終え、そうこうしていると、長岡市の若い衆が下山してきた。聞けば、途中で下山したという。彼はワカンでなくスノーシューだった。いずれにしても、明日は厳しい状況と判断した。

馴染みの宿着。主人の T 氏・奥様は元気だった。K が持参した、一升瓶で歓談。T 氏は、今回は、雪が重く深いので、**「タカマタギ」**でなく、二居（ふたい）から日白山（にっぱくやま）にしたらと進言してくれた。二居は、毛渡沢橋に比べ、標高差が約 300m程楽だった。我々に 300mは大きい。

二居からは、2018 年、東谷山までスキーで上っていたが、やっぱり**「タカマタギ」**は、毛渡沢橋からにこだわった。宿では、先日、伊豆巡礼時、伊浜で摘んだ**「初ワラビ」**をを食べて貰った。我々も初ワラビだったが、まだ雪深い越後では、サイコーのご馳走だったようだ。

15 日、5:30 駐車場発。勿論、誰も居ない。最初からワカン。関越道・上越線を潜って、尾根に取り付く。まだ、暗かったが天気は良く風もない。上越の山々が、次第に白く光って来た。ひと上りで鉄塔着。やはり雪は深く重い。上は急登が続く。K と Y のワカンが不調。まあ、ロクにワカンを履いたことがないので、不慣れは不慣れ。

K のワカンは、御殿場の T さんの借り物。昔のワカンでフロントが持ち上がっていな

鉄塔上

いのでひっ掛かって、何度も転んだ。Y も何かワカンが靴にシックリ馴染まず、やはり歩き難い。ただ、Y のワカンは、翌日の谷川岳登山時、ロープウェイのロビーで、何気なく眺め、私が実際、履いてみたら、実は装着が、**「前後逆」**だった。

前回の蓼科山でも、そうだったようで難儀していた訳が分かった。ただ、その時は、よく見てやらなくて、申し訳なかった。以前、杣添尾根でアイゼンを、やはり前後逆に履いていた女子がいたが、まさか、ワカンもアリとは思わなかった。ただ、谷川岳は**「観光登山」**で、ワカンを使用する機会がなかったので、次回、名誉挽回です。

そんなこんなで、お二人は、転んだり・ハマったり、四苦八苦だった。ようやく、小

さな雪庇を越え、標高 1040mのピークに立った。素晴らしい景観。蒼穹に**「タカマタギ」**らしきピークが光っていた。ここから上は左手に雪庇が伸びていた。雪は相変わらず深く重い。今日のこの雪では、屈強な**「ラッセラー」**が 4～５名必要だろう。

ピーク 1040mからピークがタカマタギ？

　標高約 1100mから、ブナの巨木が現われ、イイ感じの尾根になった。しかし、トップを引いていたＫが突然、**「ラッセルがない！！」**と叫んだ。昨日の長岡市の若い衆は、一人で頑張って上ったが、ここで、精根が尽きたのだろうか。

　ここから、**「地獄が始まった」**。ま、雪深い新潟在住の仲間なら、どうということはないかも知れないが、兎に角、雪がない静岡在住の我々にとっては別世界。多くのラッセルは、若いＹが頑張った。頑張ったが、標高はなかなか稼げない。

　実は、このルート、先日、会報を交換している、新潟魚沼市の**「みちぐさハイキングクラブ」**の仲間がやっていた。日時は 3/3、人数は５名。新潟の仲間なら、この程度では、モノとしないかも知れない。

　結局、我々は、棒立山手前、標高約 1360mで力尽きた。上部は無木立の重い雪で、雪崩も気になった。

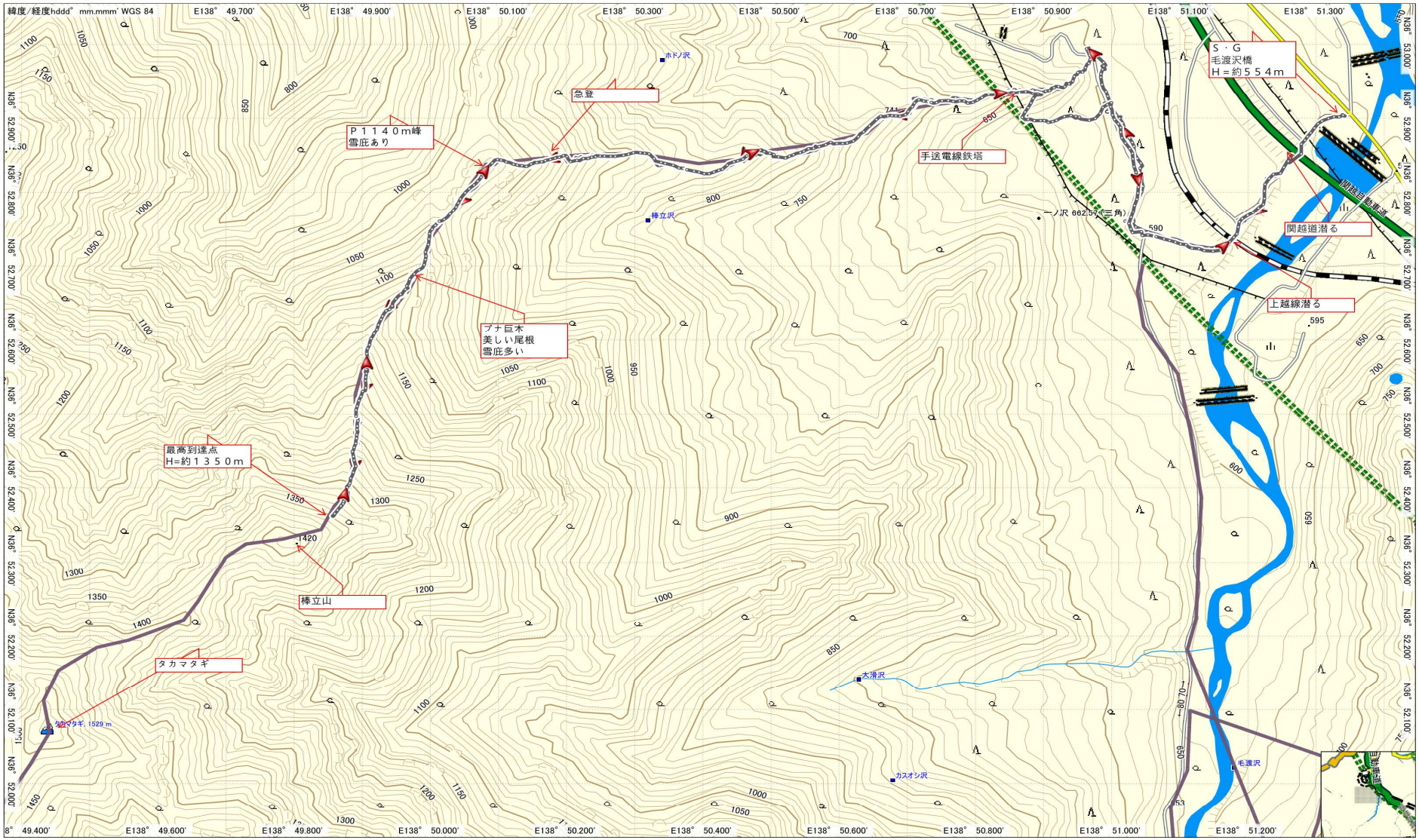
　我々は、毛渡沢橋から、標高差約 816mを約５時間掛かった。条件・人数・経験も違うが、前述の新潟の仲間は、毛渡沢橋から棒立山まで約２時間で上っていた。いくら雪に慣れ親しんでいる新潟人でも、ちょっと早過ぎるんじゃ～ないか？？！！

「ラッセル地獄」で奮闘するＹ

下山

尤もメンバーの IT 氏は、私と生年月日が全く同じだが、2022/4/29～5/5、尾瀬から越後駒まで大縦走した超超強者である。

結局、今回の山は、**「最初から最後まで、ワカンだった」**。脚はパンパン。翌日の谷川岳は、**「観光登山」**で良かった。（笑い）


緯度/経度hddd° mm.mmm' WGS 84
S・G
毛渡沢橋
H＝約５５４ｍ
急登
Ｐ１１４０ｍ峰
雪庇あり
手送電線鉄塔
ブナ巨木
美しい尾根
雪庇多い
最高到達点
H=約１３５０ｍ
棒立山
タカマタギ
関越道潜る
上越線潜る
関越自動車道
ホドノ沢
棒立沢
一ノ沢 662.5m(三角)
大滑沢
カスオシ沢
毛渡沢
タカマタギ, 1529 m
Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014
2024/03/18 11:03:22
GARMIN

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・加藤　写真・後藤
山行番.	NO.2035-1
日　時	2024 年 3 月 17 日（日）晴・午前風やや有り
山　域	上越・谷川岳（トマノ耳 1963m、オキノ耳 1977m）
コース	ロープウェイ駅発 8:30-天神平発 8:52-熊穴沢避難小屋 9:57-ザンゲ岩（ザンゲ岩は西黒尾根にもあり）10:50-肩の小屋 11:25-山頂 11:38～48-避難小屋（昼食）11:58～12:15-天神平 14:30
標高差	天神平約 1300m～谷川岳 1963m＝約 663m
難易度	非常に困難　困難　やや困難　**レ普通**　やや易しい　易しい
やっぱ、谷川岳は、スンバラシイ！！	
ど～が～	https://susono-reihou.babyblue.jp/00-46mp4.mp4
参加者	後藤、加藤、山田＝3 名

5 時起床。手早く朝ごはんを食べ宿発。湯沢インターから関越道に乗り、谷川インターで降りて谷川岳ロープウエイに向かう。谷川岳は、一の倉沢など、ロッククライミングで有名な所だ。今日は一般登山道で、しかも標高 1321m まで一気にロープウェイで上る天神尾根コースだ。CL に言わせると、**「観光登山」**である。昨日がラッセルで辛かったので観光登山は嬉しい。ヤッホー、レイホーである。

天神平

スキー場

この日の駐車場は無料開放だった。ラッキー！ロープウエイ乗車券は往復 3 千円。係員の上着に**「星野リゾート」**のネームが入っているので聞いてみたら、2 年前に変わったとのこと。そうか。やり手だな。でも駐車場を無料にしてくれているから有難い。

8 時半始発に乗り込む。今日は土曜日なのに人が少ないという。途中窓から下を覗くと、**「え～！カモシカ～?」** 雪の中に僅かに出ている小さな木の葉を食べていた。この時期雪の中でどの位餌にありつけるのだろうか。

天神平に到着。目の前の小高い丘までリフトが動いていた。リフト代 500 円。お金が惜

満点パパ

しいわけではなく、山ヤなら歩け？

アイゼンを装着して出発。夏道と違って、リフトを回り込み尾根に向かうが最初から急登だ。あまり寒くもなくこの時点では風もない。直ぐに汗が吹き出し衣服調整をする。昨日と違って今日はアスファルト道路並だ。ラッセルがない。アイゼンも効き歩き易い。とは、言っても雪山は雪山だ。侮ってはいけない。

すっぱり切れたトラバース、落ちたら真っ逆様に地獄の蓋が開く。急登の登下降は滑ったらアウトだ。一歩、一歩確実に足を運ぶ。熊穴沢の頭を過ぎ、避難小屋で休憩。

見上げる谷川岳は威風堂々と素晴らしい。この頃から風が出始め、防寒服を着込む。更に急登が待っていた。写真撮りながらの CL を待ち待ち、脇を登山者が追い越して行く。天狗の溜まり場まで来ると後一登りだ。

右に見える西黒沢が広大な斜面を見せていた。言わずばなるまいとばかりに、山ちゃんに、**「わたし、此処を滑って下ったんだよ」**。山ちゃん**「へーっ、凄～い！」**先輩風を吹かす。ついでに西黒尾根を登っている人達が見えたので、指で、**「それもスキー板担いで西黒尾根を登り、頂上から西黒沢を滑り、熊穴沢から沢に滑り込んだ」**と、今では絶対無理な遠い昔の話をしてしまった。懐かしいなぁ！あの頃が。

後を振り返ると、次々と登る登山者でシュプールが刻まれた。正にヒマラヤ状態？　カッパの彩りが、白い雪の中に映えてとても綺麗だ。時折強い風に耐風姿勢をとりながら、肩の小屋を通り過ぎ頂上（トマの耳）着。

熊穴沢避難小屋　　クレージーな外人さん

雪面にできたエビの尻尾でいかに風が強いかわかる。見た目が舞茸にそっくりだ。記念撮影をして早々に小屋に戻る。

小屋には既に風を避けた場所で休憩している人達で満杯だったが、それでも僅かな空間を陣取って行動食をつまむ。この寒いのに、長袖をたくし上げ、半ズボンの外人さんがいた。

CL が見逃すはずが無い。案の定**「クレイジー」**と、声をかけた。写真を撮らせてくれと言うと、**「オッケー」**と、半ズボンを更にたくし上げ、ひょうきんに踊ってくれた。皆で大笑い！外人さんの太ももは真っ赤に染まり、むく毛の先は霜がおりていた。それでも寒くは感じないのだろうか？

冬場で小屋のトイレは閉鎖していた。小用から帰ってきた CL が、小屋の入り口で（大）をしている人がいたと。信じられない！登山者の恥だ。出物腫れ物ところ嫌わずと言えど、場所を選べと言いたい。広大な雪原風景の素晴らしさを堪能してきただけに、そんな登山者がいたことがとても残念だ。

下りは早い。西黒沢にスキーのシュプールが刻まれていた。気持ち良かっただろうなぁ？下りながら周りの山が見えてきた。万太郎尾根がナイフリッジの険しさを見せ、行く手を阻んでいるかのようだ。上から目線で登ってきたコースを見ながら下るのも良いもんだ。

山頂　　肩ノ小屋

尾根には邪魔する物が何もないので、遠望を楽しめスッキリした尾根上の白さの中に、鮮やかな彩りの上着がポツポツと色を添える。雪山でなければ見られない風景だと改めて思った。最後に降り立つ天神平の上で、暫し休憩。山ちゃん感激！シュパッとビールで乾杯！極上のひととき！を楽しんだ。

登ってきた谷川岳に後ろ髪を引かれる思いで後にする。帰りのロープウエイの中で、**「今年２回カモシカを見たからもう一度見れるかもね」**と、何気に口にしたら窓際にいた男性が**「下にカモシカがいる」**だって。ホントかよと思って下を見たらいました。カモシカが。2 度ある事は 3 度あるって本当でした。

谷川岳初めての山ちゃん、再度訪れたいと言ってました。CL は天神平のスキー場が気になるらしく、滑ってみたいと言ってました。今回の山旅サイコーでした。満足！

素晴しきかな谷川岳

展望台

天神平

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・写真　加藤
山行番.	個人山行
日　時	2024 年 3 月 21 日（木）晴
コース	中山道＝薮原宿から鳥居峠越えて奈良井宿
参加者	加藤、斎藤、大島、遠藤（沼津労山）＝4 名

中山道の宿場から宿場の峠越え、歩き終わった後には古い宿場の町並みのそぞろ歩き、五平餅が待っているぜ。

前回、奈良井宿から歩き、帰りに楽しめるからと宿場町を素通りして薮原に 13：30 分に着いた。既に電車は 5 分前に出た後で次は 15：57 分である。たった 5 分の差が悔しかったがどうにもならない。薮原宿をぶらぶらしたが何も観光する所がない。駅に戻って暇を持て余した。その時は奈良井宿で楽しみにしていたそぞろ歩きも、五平餅も味わえなかった苦い経験から、今回の計画を立て直した。

今回は効率良く奈良井駅に車を止めて、薮原駅まで電車で行き奈良井宿まで歩く事とする。そうすれば、電車の時間に縛られる事なくゆっくりと奈良井宿を楽しめるというものだ。奈良井駅 8：42 分の電車に乗る為に、逆算して富士 IC を AM5:30 集合とする。斉藤さん、大島さん、遠藤さん時間が早く大変だったが、ガッツで頑張る。

中山道は五街道の一つ。江戸日本橋から京三条大橋に至る約 534 キロ、69 宿の街道。温暖な海側を通る東海道に対して、信州や木曽の険しい山道を通る道筋で、今も古い宿場町が残っている所が多い。と、言う事で全文にあるように今回はいいとこ取りで楽しむコースを選んだ。

ところが、たまたま現地に問い合わせる要件があった折、言われた事は（朝から大雪で夕方まで降る予報、既に駅の周辺は 10 cm以上の積雪）と言うではないか。悩んだ。止めるべきか、山域を変更すべきかそれでも行こうか。

悩んだ。夕方もう一度観光協会に問い合わせると、暖かかったので雪が溶けて幹線道路

はスタッドレスなら大丈夫だとの事で実行

する。当日は快晴。中高年女 4 人は車の中から大盛り上がり。塩尻インター下車すると車中から望む山並みは真っ白。道路も霜けたような嫌な感じ。慎重に走って奈良井宿には 20 分前に到着。身支度調えて直ぐに駅に向かうと、電車は雪で 10 分遅れているとのこと。ラッキー❗ ザックをおろし、朝の腹ごしらえをした。遅れた電車に乗り込み、一駅先の薮原駅で下車。

おー❗白銀だぁ〜❗駐車中の屋根にも雪が積もったまま。触りに行くと、後ろの窓が全開で中を覗くとしっかり雪が溶けずにあった。

ザックザック、ザックらこ

皆んなで大笑い。暫く歩いて行くと、後ろから「静岡の加藤さん？」声をかけられた。この先に寄る予定の笑みん館の中にあるパン屋さんの従業員の方だった。営業時間が 9 時からなので、私達が寄る時間には早過ぎてパンがまだ出来上がっていない。なので昨日電話をしておいたのだ。それで雪が降っていることがわかった次第。

雪の状態で行けるかどうかわからないので、今回は予約取り消します。と、連絡を入れたが、着時間を考えて待っていてくれたらしい。嬉しいことに、何と何と、パンが沢山作ってくれてあった。何とありがたい事か。地元の人の嬉しい心遣いに感謝する。焼きたて、ほかほかのパンを頬張り腹を満たしお世話になったパン屋を後にした。

静かな街道歩き。街並みは宿場町とはほど遠く、山間部で賑わいはない。ふとみると、公園らしき広場の縁に、春 1 番に咲く（フクジュソウ）の群落が雪の中で健気にも咲いている。いじらしい❗

集落を過ぎると、いよいよ山道に入る。降ったばかりの雪は軽くて、靴が埋まるたびキュッキュッと音がして楽しい。頭上では小鳥のさえずりが聞こえた。良いなぁ　この感触、この感じ。誰ともなく呟いた。雪の中に微かに石段を見つけ、熊よけの鈴を鳴らし、暫く緩やかな登りに興じる。

登りきった鳥居峠は塩尻市奈良井と、木曽郡木曽村薮原を結ぶ中山道でも難所と言われる峠だ。行程役 6k。今は難所の面影がない。

ここは、雪国だった

御嶽山が望める御嶽神社がある。参拝して水平の道をいくと立派な栃の木が数本見られる。更に行くと、峠の茶屋がある。

残念ながら冬場は小屋もトイレも閉鎖。屋根に垂れ下がるような雪の塊を見つけ、雪をかき分けて入り雪を裏側からストックで落としていた。童心に返った3人はキャッキャッと顔が輝いてみえた。

これからは下りである。めざとい加藤はすぐ（蕗のとう）を見つけた。30㎝位の雪の道を楽しんだ。斉藤さんが、後ろを振り返り、「皆んな顔が笑ってる」と言ってた。今日は雪の中でも来て良かったと心から思った。緩い多少のアップダウンを何回か繰り返し、奈良井宿に到着。ベンガラゴウシの建ち並ぶ風情のある、正に宿場町だ。ウロウロと店に立ち寄りそぞろ歩きを楽しむ。

その中で美味しそうなパフェがある珈琲店を見つけて、勿論コーヒータイム。極上に幸せ。女性って食べる物に目がない。ランチよりパフェ？が良い。そんなこんなで、楽しんだ中山道も終盤を迎え駐車場に着いた。

お疲れ様でした。雪の峠越えも、雪は深くても険しい所がないのでノーアイゼンで超えられた事は有難い。

福寿草

イイ天気だった

日本勤労者山岳連盟
静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック
長泉裾野・麗峰山の会（愛称・れいほう山の会）

会報「れいほう」
2024/03/25
第 30 期・01 巻　　2024/4 月号　　NO.271
連絡先 静岡県駿東郡長泉町下土狩 1541-12 徳山荘
090-8956-9990 055-986-6075

HP　http://susono-reihou.babyblue.jp/
Mail　takanori_reihou8888@yahoo.co.jp

2024/03/13　伊豆・伊浜
山の会報ですが、またまた、海の絵。海の大自然もイイ。
伊浜は、伊豆でも最遠距離地。三島から、３時間掛かる。（ごとう）